第157号
昭和38年5月1日

昭和29年10月15日
第三種郵便物認可

毎月1日発行
定価1部3円

広報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市中1～900
編集兼発行人
三廻部将順
又進堂印刷所
全世帯配布

小田原市の人口
5月1日現在
人口 131,860人
男 65,340人
女 66,520人
世帯 29,115世帯
人口 149人増
男 121人増
女 28人減
世帯 109世帯増
前月との比較

5月の広報によみ

◎春の年祭（慰霊祭風流）（5月4日）
◎東足柄茶祭（5月3日）
◎子供の日（5月5日）
◎愛鳥週間（5月10日～16日）
◎食品交通安全週間（5月10日～16日）
◎市民年度末滞納整理期間（5月15日～31日）
◎小田原お城まつり（5月17～19日）

市民劇場 小田原で宝塚歌劇団初公演 準備会が発足

市民がすれば芸術、芸能多学です。

市民劇場設立準備会は、この公演を機会のうえ、市民の総意を結集して能舞台の建設を目的として、この準備会を発足させました。

市内会館関係団体の関係者が、この民間劇場の設立を計画しておりますが、この準備会の発起は昨夏、労組などを中心に地方自治の向上に大いに役立つものと期待されます。

市民劇場設立準備会（代表委員長）坂倉弟郎氏・商工会議所専務が各四人宛、市民会館運営委員会心二十氏とを結成されました。準備会は、早速の発起人会を開き、小田原市民の総意を結集して、この準備会の発起は昨夏、労組などを中心に地方自治の向上に大いに役立つものと期待されます。

九三一七名の好成績

市県会議員の申告状況

去る三日二十日の市県会議員の申告状況は、次の通りです。

なお、この申告状況は、ひとり市県会議員のみならず、市内の各方面の有力者の申告書を一覧する為の参考の為、なお、この市県民の申告書は、市役所の市民課に備置されます。

なお、この市県民の申告書は、市役所の市民課に備置されます。

なお、この市県民の申告書は、市役所の市民課に備置されます。

農業共済事業を開始 5月1日から

事務は農林水産課で

これは、農業の「お」三月市議会で、組合設立問題が議決されて、今まで、農業共済事業を、農業協同組合が、農業共済事業を、農業共済組合が、農業共済事業を、農業共済組合が、農業共済事業を、農業共済

高速たい肥を販売

1袋20kg 100円で

生産されたたい肥の袋詰め作業

市は昨年一日から高速たい肥機（ハスカル）を加工、四苦八肥する。なお、次期の方法、市民所有いるたい肥用するの長期間で市民所有に提供されていたたい肥の袋詰めを始め、処理に当たっていた十数台の工場の高速たい肥機（ハスカル）を使って、一袋20kg入百円で、一般家庭に販売しお目。

このたい肥については、すでに市民の間に好評で、今年下半期の生産分は、ほとんどが、予約されたおり、肥効面の結果

春の交通安全運動 5月11日から

スピード違反、道路の横断などに注意

こどもも五十二日から二十日まで、全国一斉に春の交通安全運動が行なわれます。これからこどもたちの交通事故をみなさんの協力で少しでもへらそうと努力しなければなりません。

昨年県内で発生交通事故は二万五百十三件、毎日五十七件の割合で起こり、死傷者二万四千人が全国で五万二千人死、死傷者二万四千人が全国で五万二千人死、死傷者二万四千人が全国で五万二千人死

はえある厚生大臣表彰

身体障害の菊地さんに

たびたび全国的に報道されているように、身体障害者福祉の模範的人物として厚生省で、さる四月二十日自動車における、ひき逃げ事故で、その作成を強制されて、はえある厚生大臣表彰を受けられた、小田原市荻窪の菊地さんは、はえある厚生大臣表彰を受けられた。

菊地さんは、昭和二十年、ビルマ戦線で、右足を切断、その作成を強制されて